

広島東商工会地域

# 中小企業景況調査報告書

令和6年度

令和6年10～12月期 実績

令和7年 1～3月期 予測

令和7年1月

広島東商工会

## 中小企業景況調査の概要

1.制度趣旨	<p>この調査は、中小企業の景気動向を総合的に把握するため、全国の商工会、商工会議所、中小企業団体中央会の3団体管内の企業約18,600企業を対象に四半期ごとに実施されている。調査結果は(独)中小企業基盤整備機構で集約・分析・公表され、中小企業施策立案等の基礎資料として活かされるものである。</p> <p>広島東商工会では、年度中に1回の調査を行い、当会地域の景況データを解析、報告書に取りまとめ、事業者の経営判断の一助になること、当会による事業者支援を効果的に実施することを目的として、広島県商工会連合会が作成・公表した第178回報告書に追記して公表する。</p>
2.調査対象	(対象地区)広島東商工会地域の会員事業者 (対象企業)100者 製造業25 建設業25 小売業25 サービス業25
3.調査方法	経営指導員による訪問面接調査
4.調査期間	令和6年10～12月期実績、及び令和7年1～3月期見通し
5.調査時点	令和6年11月30日

6.DIとは Diffusion Index(景気動向指数)の略。各調査項目について、増加(好転)企業割合から、減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示し、「変化の動向」を把握する。

DIがプラス(+)なら……強気(楽観)、上昇機運

DIがマイナス(-)なら……弱気(悲観)、低下気運

例)業況で回答割合が増加50%、不変30%、減少20%の場合

$DI=50-20=30$ となり、全体としての経営者の強気(楽観)度合いを表す

7.その他 この集計値は、全国商工会連合会が提供する全国集計を基に、広島県商工会連合会が集計、編集したものに倣い集計したものである。

(参考) 全国及び広島県内の経済動向について、その他機関による調査資料

■(独)中小企業基盤整備機構(3団体を含む全国版報告書)

[https://www.smrj.go.jp/research\\_case/research/survey/index.html](https://www.smrj.go.jp/research_case/research/survey/index.html)

■中国財務局(中国地方の経済情勢)

<https://lfb.mof.go.jp/chugoku/>

■広島県(広島県の産業経済動向)

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/67/>

■広島県商工会連合会(県連からのお知らせ)

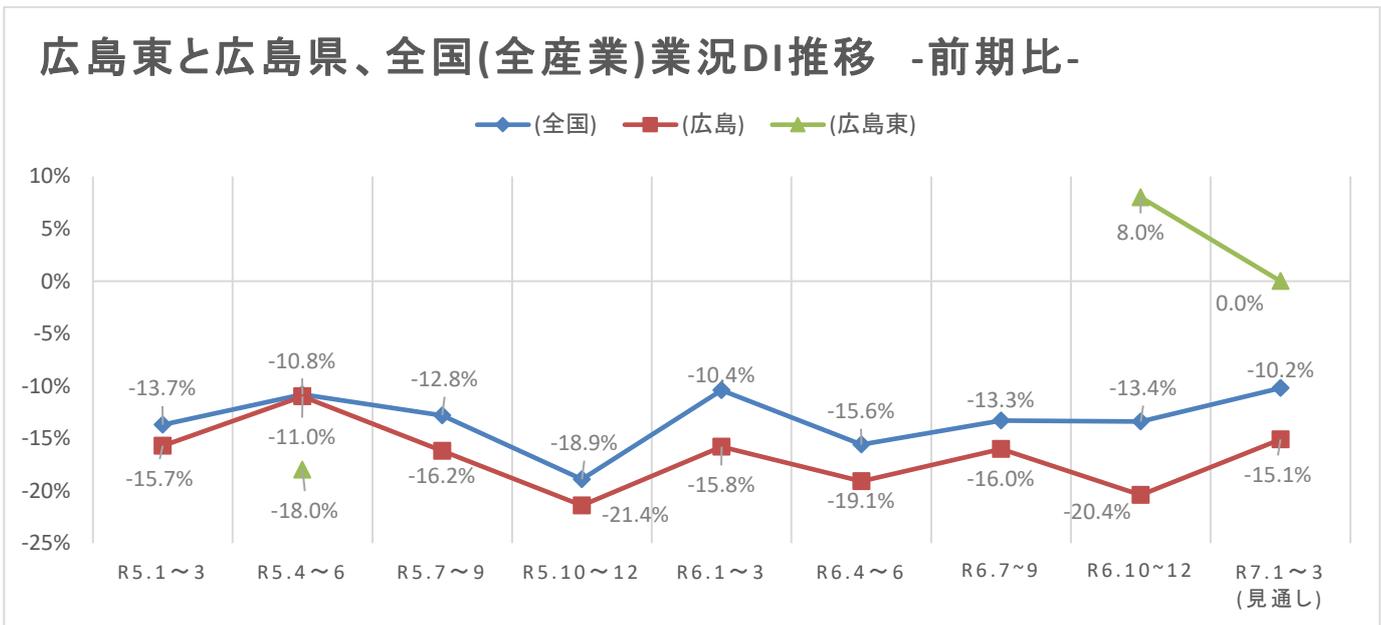
<https://www.active-hiroshima.jp/kenren>

# 産業全体の概況

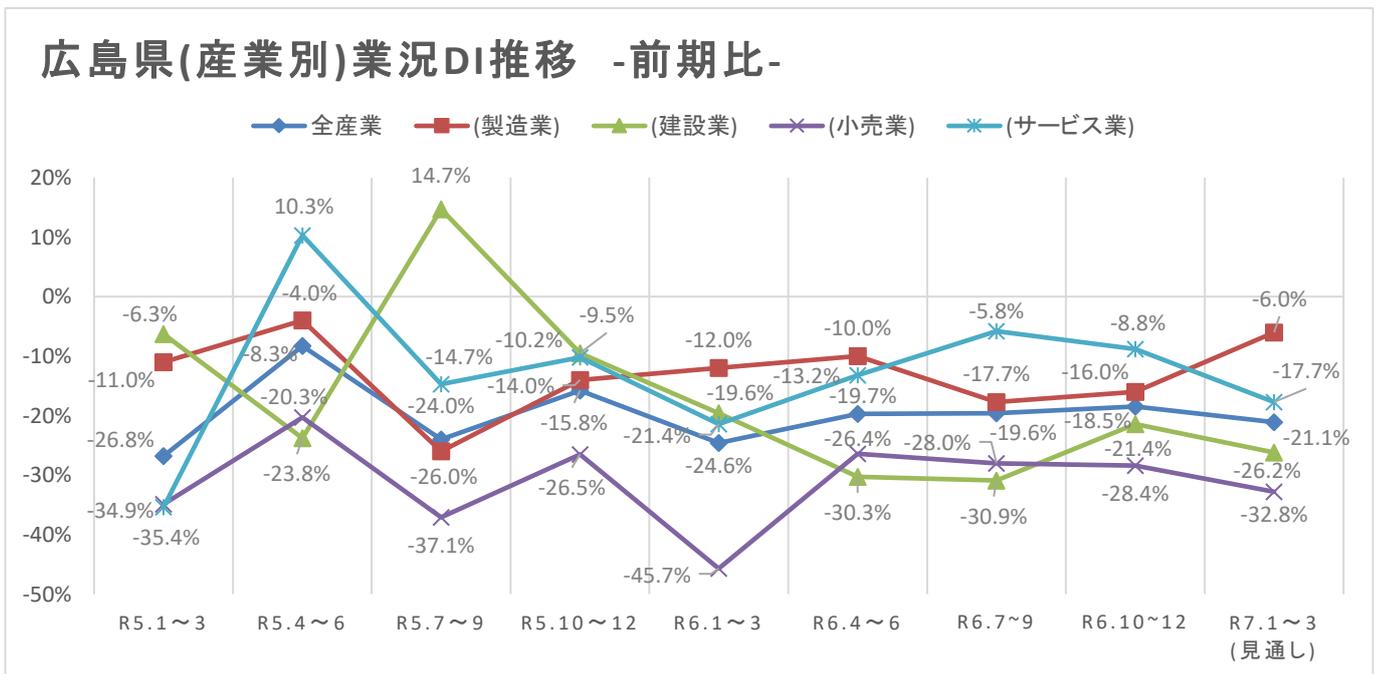
## 1. ポイント ※(独)中小企業基盤整備機構「第178回中小企業景況調査(2024年10-12月期)のポイント」より

- ・ 中小企業の業況判断DIは低下。来期見通しは上昇。
- ・ 従業員過不足DIは、3期連続して低下。特に建設業は顕著に不足感が強い。

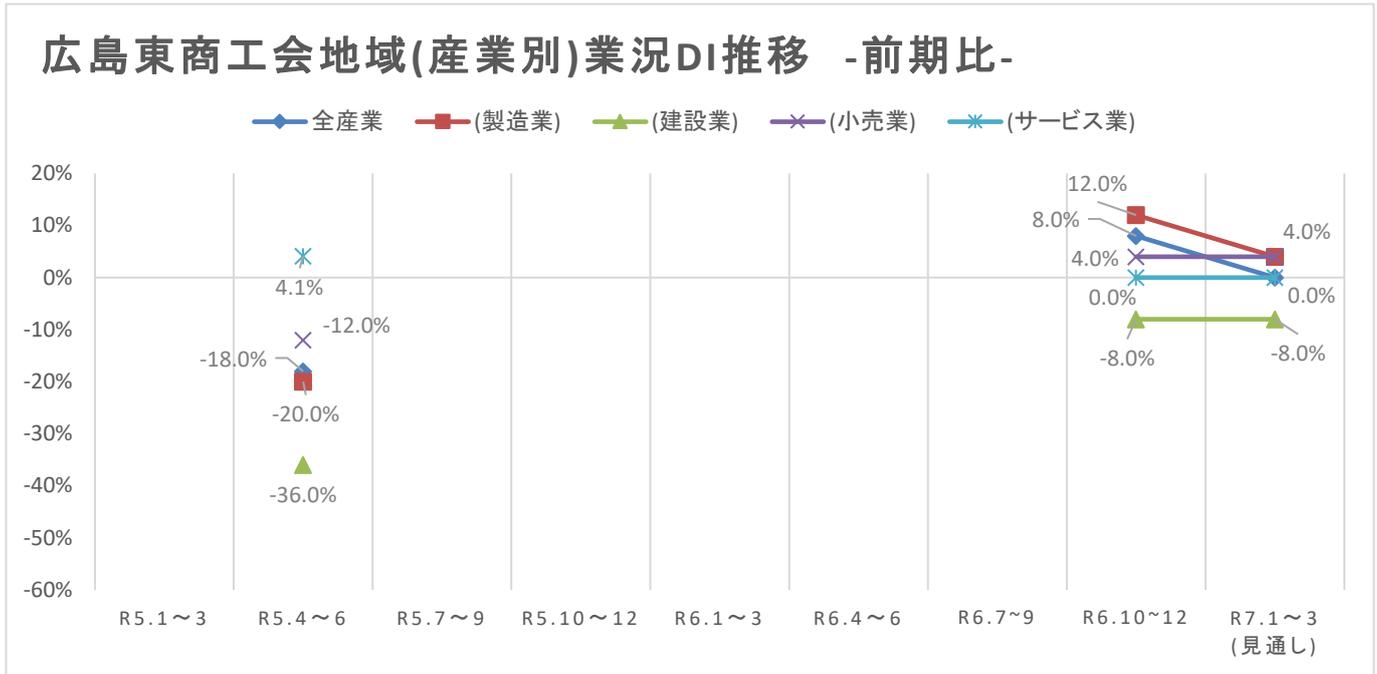
## 2. 広島東商工会地域と広島県と全国(全産業) ※商工会、商工会議所、中小企業団体中央会3団体データを含む ※広島東はR5.4~6月期・R6.10~12月期以降のみ



## 3. 広島県(産業別) ※商工会地域のみ



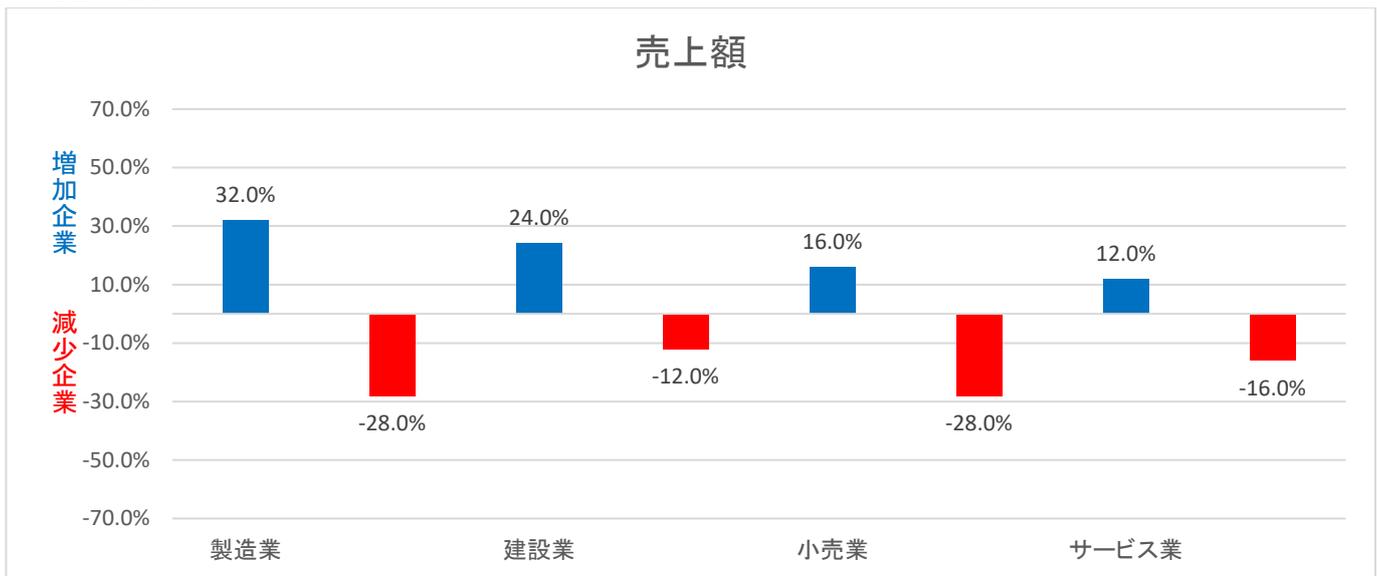
4. 広島東商工会地域(産業別) ※広島東商工会地域のみ ※R5.4~6 月期・R6.10~12 月期以降のみ



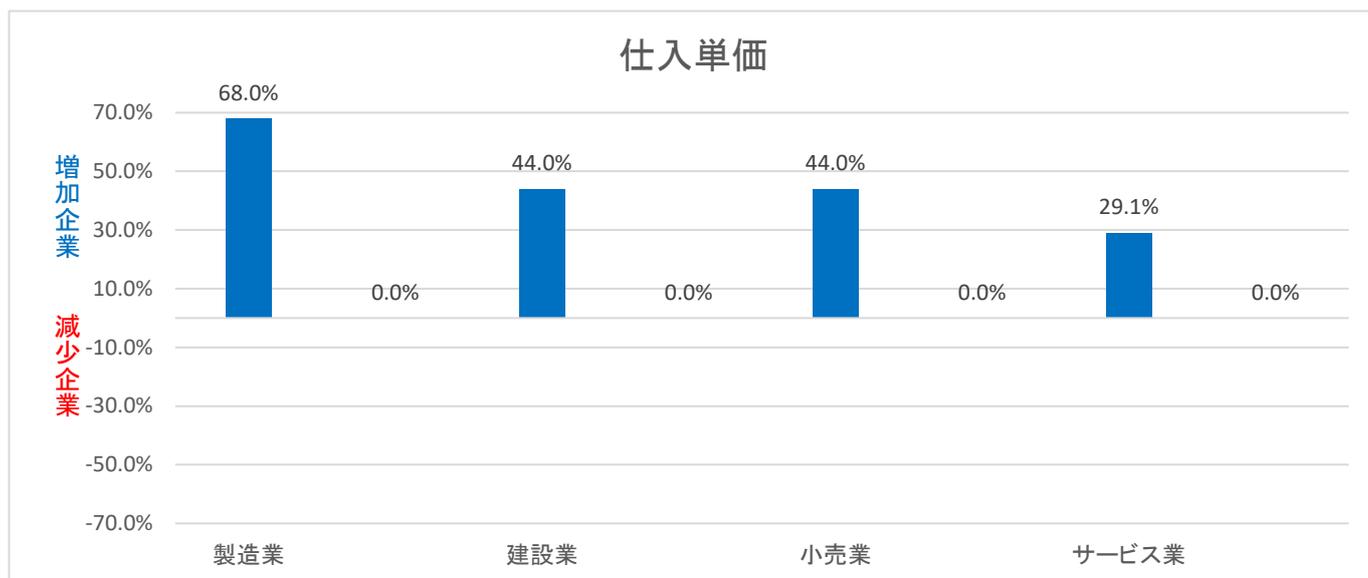
主要景況項目ごとの比較 ※広島東商工会地域のみ ※R6.10~12 期を R6.7~9 期と比べたもの

※各業種ごとの全体数に対する増加企業割合、減少企業割合をそれぞれ算出

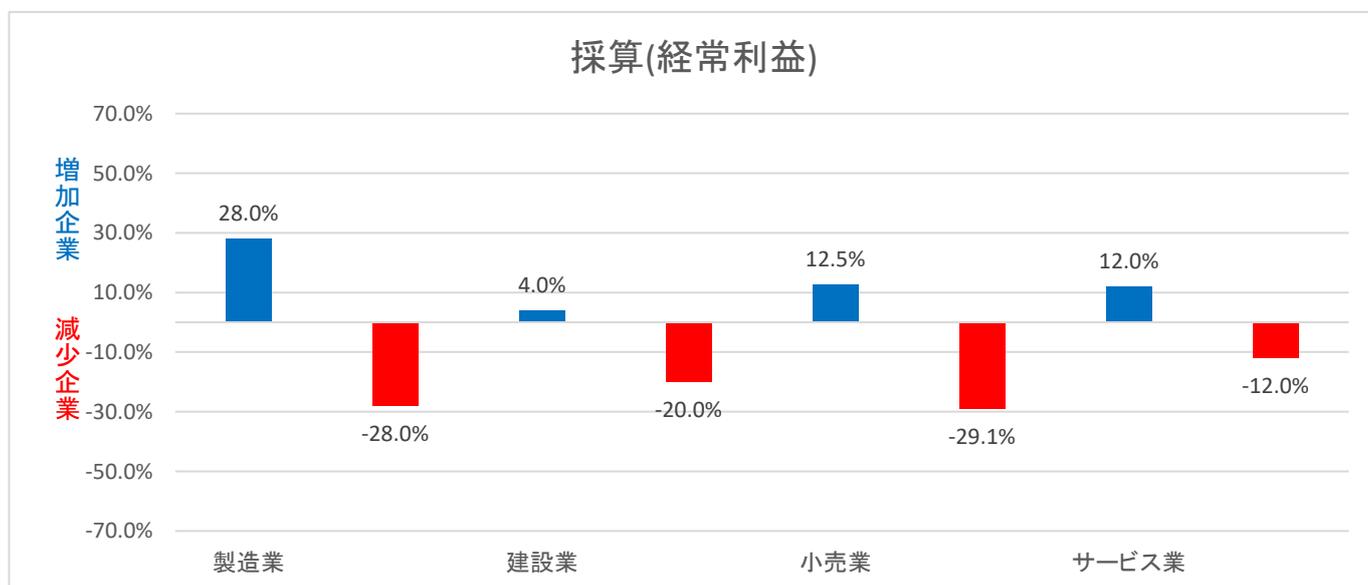
1. 売上額



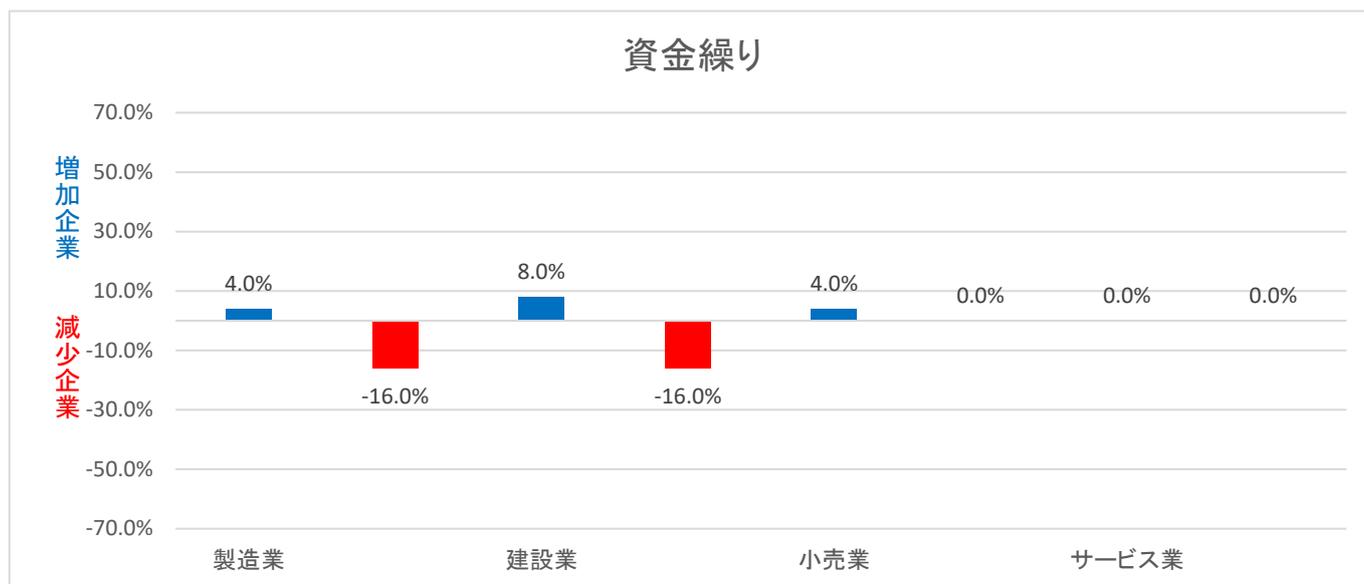
## 2. 仕入単価



## 3. 採算(経常利益)

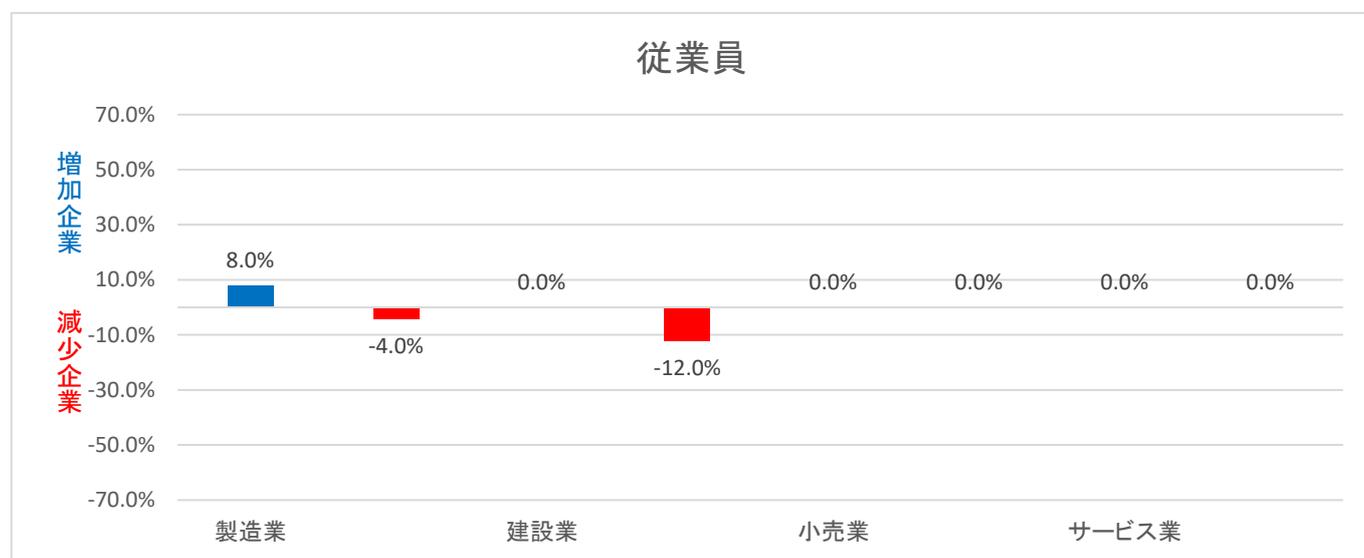


#### 4. 資金繰り



※サービス業については変動なし

#### 5. 従業員(含臨時・パート)



※小売業、サービス業については変動なし